

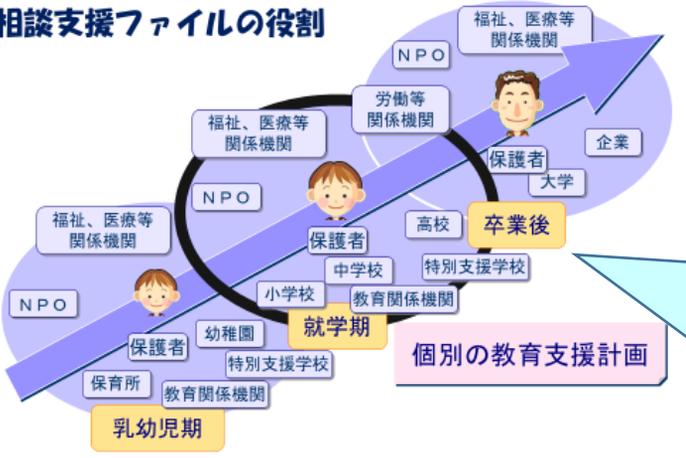


令和6年となりました。今年もあらたな気持ちで校内支援や地域支援に取り組んでいきたいと考えています。今後も地域支援センター「ゆめここ」へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

今回は、「相談支援ファイル」について掲載しました。2月に行われる個別懇談で話題となりますので、再度ご確認ください。

「相談支援ファイル」と「個別の教育支援計画」

相談支援ファイルの役割



「相談支援ファイル」は、お子さんについて就学前から学校卒業後まで、生涯にわたって支援を継続して行うためのものです。

「個別の教育支援計画」は、学校に通っている期間、保護者とともに学校が作成するもので、就学・就労時や進級・進学時の引き継ぎ、就学前から卒業後の関係機関での支援に活用されます。

相談支援ファイルに学校より配布された個別の教育支援計画の資料等を綴り込むことで、ライフステージが変わった場合や転居した場合でも、同じ支援をスムーズに受けることが可能となります。

「相談支援ファイル」の種類は？

「相談支援ファイル」は、就学前から成人に至るまで保護者の皆さんが使用するものです。お子さんのライフステージが変わる際には、成長の記録や支援状況、指導内容等に関する情報を、幼稚園や保育所、小・中学校、特別支援学校、就業先や福祉事業所などの関係機関でスムーズにつなぎ、一貫した指導、支援ができるようにしていくためのツールです。



相談支援ファイルの名称	市町村名
① そだちのきろく	二本松市、本宮市、大玉村
② 子育てファイル ほっと	三春町
③ 相談支援活用ファイル サポネットファイル	田村市
④ たむら りんくノート	田村市
⑤ 相談支援活用ファイル サポートファイル	小野町
⑥ 郡山市子育てサポートブック	郡山市
⑦ 成長の記録ノート ふたば	川内村（双葉郡共通）

◎ ①～⑦の相談支援ファイルについては、各市町村の障がい福祉課、保健福祉課、教育委員会等の窓口でいただくことができます。ファイルをお持ちでない方は、担任や地域支援センター員にご相談ください。

「相談支援ファイル」はどんな時に活用するの？



4つの場面で活用できます！

家庭での活用

- 入学や卒業等のライフステージが変わるタイミング
- 就学相談の面談、支援会議の参考資料
- 各機関（福祉や学校）で支援計画を作成するとき
- 福祉サービスにつながる時
- 20歳時点で、障害基礎年金の申請の際

福祉事業所等との連携で活用

- サービス利用前の面談（契約）に活用
- 支援計画の作成（モニタリングを含む）に活用
- 学校での様子について、情報共有として活用

学校との連携で活用

- 入学時の引継ぎ資料
- 高等部卒業時の引継ぎ（移行支援計画の補足）
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成時の参考資料

行政との連携で活用

- 面談時の参考資料として活用
- 療育手帳の再判定資料として活用
- セルフプラン作成の支援の際に活用



整理する時には！

これまでのお子さんの成長や経過が分かるように

→ 例えば 年度ごと、関係機関ごとに、綴じる。
見出しを付けると、さらに見やすくなります。

学校や支援機関が作成した指導計画や支援計画、資料など、まずはどんどん挟んでみましょう！



トピックス「教員同士の学びの場」

昨年度から、たむら支援学校高等部教員と船引高等学校教員による合同研修会を行っています。校舎を共有している環境を最大限に生かし、教員同士が互いの専門性を学び合い、自校の指導に活かすことを目的として始めました。

分科会形式を採用し、今年度は「教科指導」「生徒指導」「生活指導」「進路指導」「自立活動」の5つのテーマを設定しました。日頃感じていることを率直に話したり、指導のアイデアを共有したり等、活発に意見交換をしている様子が見えがえました。

特別支援学校の教員同士による研修や情報交換の機会は多くありますが、高校の先生方と共に研修する機会は貴重だと感じます。様々な視点から意見を出し合うことで、両校の教員にとって気づきを得られる研修会になりました。次年度以降も合同研修会の場を継続し、両校教員の学びの場として大切にしていきたいと思えます。

